

○現行制度の改善又は拡充を求めるもの（拡充を求めるもの）

区分	☐ 新規 ■ 再提案 (26・8・21第135回総会；上田市・佐久市・安曇野市)						
種類	☒ 現行制度の改善又は <u>拡充</u> を求めるもの ☐ 新たな施策の要望又は提案を求めるもの ☐ 特に市町村への財政支援策等を求めるもの※注 ☐ その他（ ）			分野	■ 総務文教 ☐ 社会環境 ☐ 経済 ☒ 建設		
要望先	☒ 国	担当省庁	国土交通省				
	☒ 県	担当部局	危機管理部、建設部				
	☐ その他	名称					
件名	16 国土交通省の高性能レーダシステム「X R A I N(エックス レイン)」の観測エリアの拡大、または、それに代わる高性能観測体制の構築について						
提案市	須坂市						
提案要旨	長野県内に X R A I N は設置されておらず、県のほぼ全域が観測対象外となっている。県内全域を対象とした X R A I N の早期の設置を要望する。 X R A I N が長野県の地形に不向きであれば、それに代わる高性能観測体制の早期の整備を要望する。						
提案理由	気象災害から身を守るには、一刻も早い情報が必要であるので、高性能観測体制の整備が急務と考える。 国土交通省では、X R A I N の設置場所の選定にあたって、重点観測地域（大都市や火山，災害復旧現場など豪雨に対して脆弱性を持つ地域）を設定し，その地域を複数台の X R A I N でカバーできるようにしている。 長野県は、急峻な地形が多いことに加え、平成26年に噴火した御嶽山、短期間で噴火を繰り返す浅間山をはじめ複数の火山のほか、隣県の長野県境付近には平成26年6月に警戒レベルが引き上げられた草津白根山、新瀧焼山など、長野県に影響を及ぼす複数の火山に囲まれており、火山灰が降灰した地域では、土石流の危険性が増すとともに、大地震による災害復旧現場は、豪雨に対して脆弱性を持つ地域となる。 また、土石流は避難を検討する時間が少なく、実際に自治体が住民に避難を促すのは難しいが、X R A I Nがあれば有効である。						

現況及び課題等	XRAINは、既存レーダと比較し、最少観測面積が1kmメッシュから250mメッシュに、観測周期は、5分から1分に、配信に要する時間も5～10分が1～2分にと、現行の気象レーダより高分解能、高頻度で観測ができる。しかし、本レーダの観測地域は都市部が中心で、長野県は県境に接する市町村の一部に限られ、その殆どが観測対象外となっている。 長野県は、隣県も含め長野県に影響を及ぼす火山が複数あり、大地震による災害復旧現場があり、脆弱性を持つ地域があること。また、土砂災害危険箇所が多いこと、観光地が多く交流人口が多いことを、国に強く働きかける必要があると考える。
関係法令	